

まちの話題



10月24日(水)

子どもも高齢者も津波から命をまもる

高浜南部保育園と南部デイサービスセンターが、高浜南部まちづくり協議会の協力を得て、合同で津波避難訓練を実施しました。

地震発生後約60分後に大津波が来るという想定で、子どもたちの後にデイサービスの方々が続き、坂道を登って「老人と子どものふれあい公園」(田戸町)まで避難しました。

「何度も繰り返し訓練を行って、子どもたちにも避難の方法を覚えてほしい。(松井園長)」と、実際に避難して分かった課題を踏まえ、今後もいざという時に備え命を守る訓練を続けていきます。



10月27日(土)

第11回鬼みちまつり 瓦と炎が幽玄に彩る鬼のみち

高浜港駅前から森前公園まで、まつり会場一帯を穏やかな炎の灯りで照らす鬼あかり。市内の子どもたちを中心に作成され、一つひとつが違った表情を見せています。

森前公園・ニコニコ鬼広場のステージでは、色とりどりの仮装が楽しいチャラポコ踊りや、映画タカハマ物語の劇中歌でおなじみのフジヤマルキーのライブ、グレート家康公「葵」武将隊の演舞など、華やかな催しも数多く行われ、秋の1日を彩る、心躍るまつりとなりました。

10月20日(土)

仮装した子どもたちが訪れた家は…

子どもたちがトラブルに巻き込まれそうになったとき、助けを求めて逃げ込むことができる「子ども110番の家」を、子どもたちがハロウィンの仮装で巡る「ハロウィン子ども110番」が行われ、翼児童センターの児童が参加しました。子どもたちは、ハロウィンらしく、「トリック・オア・トリート!」と言って、お菓子をもらいながら、子ども110番の家の場所や住んでいる方をしっかりと確認し、万が一に備えました。



10月29日(月)

新たな防災備品が寄贈されました

株式会社スギヤスより、緊急時階段避難車「レスキュースライダー」が市に寄贈されました。レスキュースライダーは災害や停電でエレベーターが使用できない緊急時に、足が不自由な方や負傷して動けない方を乗せて、階段から迅速に搬送するものです。課長の小笠原さんは、「レスキュースライダーを使って少しでも人的減災ができれば」と話してくださいました。なお、今回寄贈された備品は、いきいき広場に設置される予定です。